

地域への取組み

地域金融機関として地域密着型金融を継続的に推進していくことが、当行の経営理念である「地域とともに」「お客さまのために」「親切」の心で」にかなうものであると考え、地域の中小企業のお客さま・個人事業主のお客さま、および個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、新商品開発等サービスの向上に努めてまいります。

また、地域社会・地域経済への貢献として、CSR活動にも積極的に取組んでまいります。

地域のお客さまとのお取引の状況

地域のお客さまからお預かりした大切な預金の大半を県内の企業や個人のお客さまへの貸出に向けております。

なお、中小企業向けや個人向け貸出金・同貸出先数については、大半が県内であります。

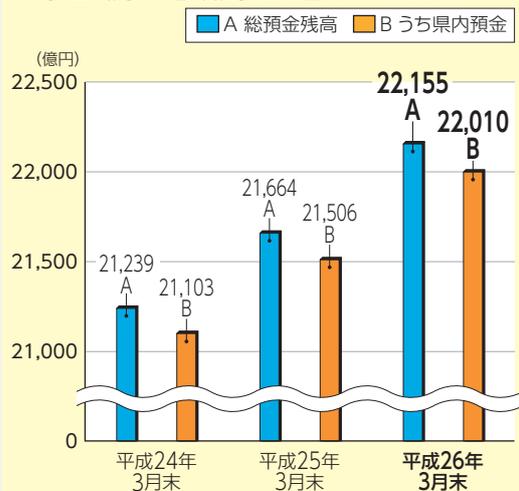
また、平成26年3月期末の県内保証協会保証付貸出金残高は、1,426億円となっております。

(注)当行は主要な営業地域を千葉県内としておりますので、千葉県内の営業店舗の合計数を「県内」計数として表示しております。

預金・預り資産残高等

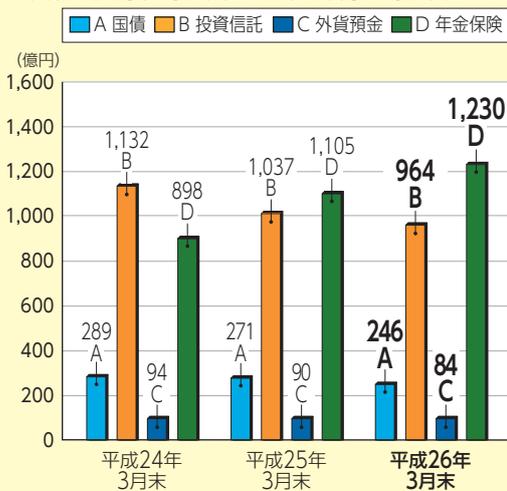
預金残高等

※預金残高には譲渡性預金を含めております。



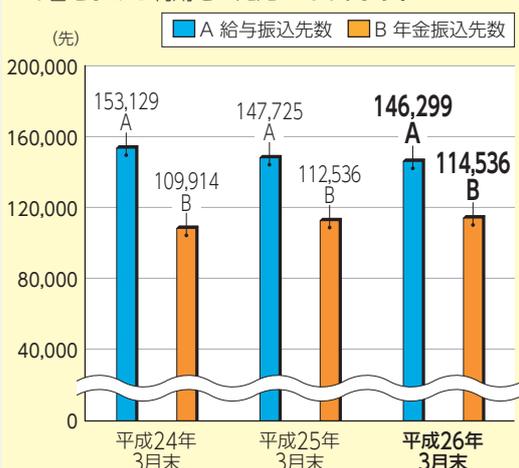
預り資産残高

平成26年3月末の預り資産の大半が県内での預り資産です。



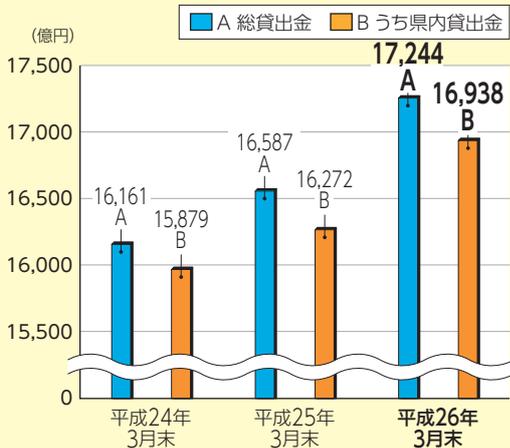
給与振込・年金振込の口座数

給与振込や年金振込などについても、多くのお客さまのご利用をいただいております。

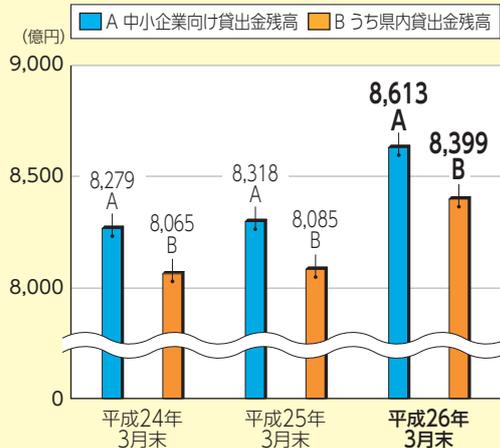


貸出金等

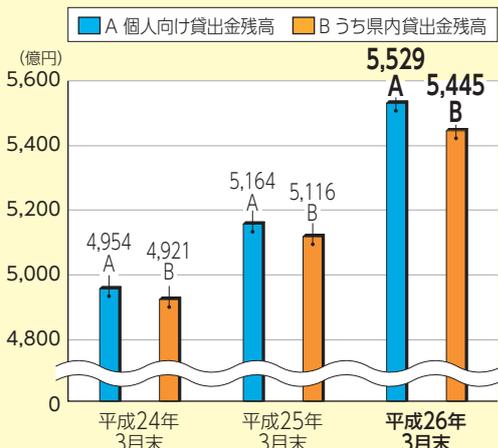
貸出金残高等



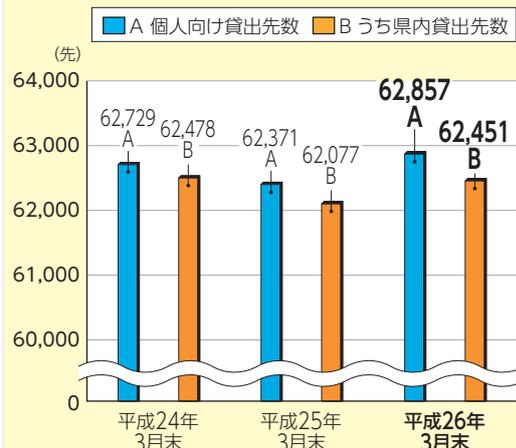
中小企業向け貸出金残高等



個人向け貸出金残高等



個人向け貸出先数等



業種別貸出金残高

当行は、それぞれの業種において、資金供給者として重要な役割を担っています。

(単位:億円)

業種	平成26年3月末	
	貸出金残高	うち県内向け
製造業	1,718	1,692
農業、林業	52	52
漁業	2	2
鉱業、採石業、砂利採取業	28	28
建設業	836	834
電気・ガス・熱供給・水道業	68	68
情報通信業	88	87
運輸業、郵便業	680	674
卸売業、小売業	1,697	1,671
金融業、保険業	745	744
不動産業、物品賃貸業	3,765	3,622
各種サービス業	1,764	1,748
地方公共団体	266	266
その他	5,529	5,445
合計	17,244	16,938

トップ
メッセージ

地域への
取組み

平成
25年度
の概況

経営・内部
管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・
商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

連結決算

自己資本の
充実の状況等
について

地域密着型金融の推進への恒久的な取組み

企業理念

地域とともに お客さまのために『親切』の心で

当行は、この企業理念の実践こそが、地域密着型金融の実現そのものであると考えております。地域の中小企業・個人事業主、個人のお客さまの資金ニーズに積極的にお応えし、円滑な資金供給に努めるとともに、地域の中小企業等に対する経営支援や地域経済の活性化に積極的に貢献し、地域金融機関としての責務を果たしてまいります。

平成25年4月よりスタートした中期経営計画「変革・成長戦略“2nd Stage”」において、当行は「地域の お客さまの ベスト・コンサルタント」の実現に向け、各重点施策の実行を通じ、お取引先企業の成長支援・経営支援を主とした地域密着型金融の推進に積極的に取組み、地域やお客さま、そして当行自身の成長・発展を目指しております。

当行は、地域密着型金融の推進にあたり、①お取引先企業に対するコンサルティング機能の発揮、②地域の面的再生への積極的な参画、③地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組みを、中長期的な視点に立って全行的な取組みとして継続的に推進し、当行顧客基盤の拡大および収益力・財務健全性の向上につなげてまいります。

数値目標の進捗状況

取組み項目	数値目標 (平成25年4月～28年3月)	実績 (平成25年4月～26年3月)	進捗率 (%)
創業・新事業支援融資	150件以上	32件	21.3%
営業斡旋、ビジネスマッチング等の数	300件以上	392件	130.7%
各種講演会、セミナーの開催数	50回以上	26回	52%
個人保証・不動産担保に過度に依存しない融資	融資実行件数 150件以上	融資実行件数 39件	26%
海外進出支援相談件数	30件以上	22件	73.3%
経営改善支援取組み率 ^(注1)	11%以上	9.5%	86.4%
経営改善支援先に対する経営改善計画策定先数	100先以上	50先	50%
経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率 ^(注2)	10%以上	8.6%	86%
再生計画策定率 ^(注3)	10%以上	15.3%	153%
事業再生に向けた取組み先数 ^(注4)	30先以上	32先	106.6%
事業承継案件への関与数	100社以上	51件	51%
経営革新等支援機関対応件数	100件以上	41件	41%

(注1) 経営改善支援取組み率=経営改善支援先(正常先除く)/期初債務者数(正常先除く)

(注2) 経営改善支援先に対する債務者区分ランクアップ率=経営改善支援先のうち期初比債務者区分ランクアップ先/経営改善支援先数(正常先除く)

(注3) 再生計画策定率=再生計画策定先数(正常先除く)/経営改善支援先数(正常先除く)

(注4) 事業再生に向けた取組み先数=中小企業再生支援協議会支援決定、千葉中小企業再生ファンド活用、RCC企業再生スキーム活用、DES・DDSの活用、再生企業に対するエグジットファイナンス実行、外部コンサルティング会社活用等の先数

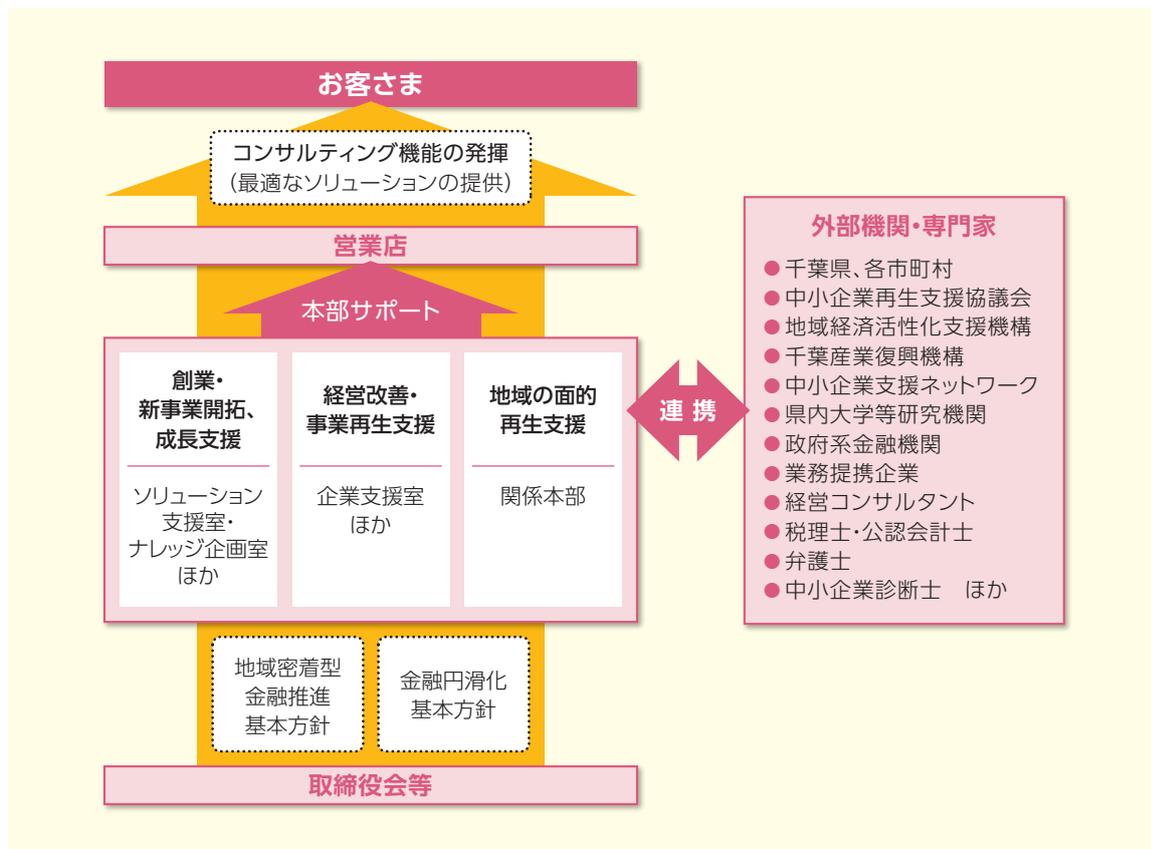
「中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組みの状況」

中小企業の経営支援に関する取組み方針

当行は、地域の中小企業等お客さまの状況をきめ細かく把握し、関係する他の金融機関等と十分連携を図りながら、円滑な資金供給に努めるとともに、お借入条件の変更等のご相談へ適切に対応してまいります。特に、地域金融機関として地域経済の活性化、および地域における金融の円滑化等に向け、「地域密着型金融推進に関する基本方針」「金融円滑化に関する基本方針」に基づき、コンサルティング機能の発揮を通じ、中小企業をはじめとするお客さまの経営改善等に向けた取組みを積極的に支援してまいります。

中小企業の経営支援に関する態勢整備

当行は、中小企業等の経営の改善および地域の活性化に向け、本部と営業店との協働や、外部機関・専門家の活用・連携により、中小企業等のお客さまの抱える経営課題に対し、適切なコンサルティング機能を発揮するよう態勢を整備しております。また、当行は、中小企業経営力強化支援法に基づく「経営革新等支援機関」の認定を受けております。



トップ
メッセージ

地域への
取組み

平成
25年度
の概況

経営・内部
管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・
商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

連結決算

自己資本の
充実の状況等
について

顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮(中小企業の経営支援に関する取組状況)

当行グループや外部機関とのネットワークを活用し、お客さまのライフステージや経営課題・相談ニーズに応じて、創業・新規事業、経営改善支援、事業再生支援に積極的に取組んでおります。

1 創業・新事業開拓を目指す企業に対する支援

対応方針

- 公的な補助金や制度融資、企業育成ファンド等を活用し、事業立ち上げ時の資金需要へ積極的にお応えしております。
- 産官学連携を活用し、企業の技術評価と製品化・商品化、販路開拓、人材確保等を支援しております。

平成25年4月～平成26年3月における取組み実績

- 1次産業と2次産業、3次産業とを結合した6次産業化事業体への投資や育成支援を目的とする『ちば農林漁業6次産業化ファンド』へ出資参加(25年5月)
- 創業・起業をサポートする『創業補助金』制度に係るご相談対応:3件(当行が認定支援機関として対応した件数)
- 中小企業庁の中小企業ネットワーク強化事業「ミラサポ」を活用、当行取引先6社に対し専門家派遣を実施(新規事業計画等3件、ものづくり申請支援2件、海外展開支援1件)
- 聖徳大学学園祭に当行取引先13社が参加し「千産千商2013」を開催。当行と産学連携協定を結んでいる聖徳大学短期大学部学生と当行取引先コーシン乳業様が共同開発した「ちばたま・にゅうプリン」を販売(25年11月)

中小企業育成支援

—「千葉元気印企業大賞」—

平成7年度より、フジサンケイ ビジネスアイ(日本工業新聞社)との共催で、新技術、新製品開発、ユニーク経営など、活力溢れる経営で時代を先取りする中小企業・ベンチャー企業を広く表彰することを通じて地域企業の発展を支援しております。



農商工連携・新商品開発・販路開拓支援

—「千産千商2013」—

平成25年11月9日・10日の2日間、松戸市の聖徳大学にて、「がんばろう!千葉 おいしい食べもの直売会『千産千商2013』」を開催いたしました。当行が聖徳大学短期大学部と締結している、産学連携協定に基づく活動のひとつであり、同日開催された学園祭にて実施したものです。今回の特色は、聖徳短大の学生と当行お取引先が協同で企画・開発した新商品の販売です。千葉県産の牛乳・卵を使用した『千産千商のちばたま・にゅうプリン』を本学園祭で販売したほか、昨年共同開発した『ときめく♥メロンパン』も販売いたしました。



このほか、お取引先企業13社が出展し、各社自慢の商品を販売、販路拡大に向けたPRを行いました。

2 成長段階にある企業に対する支援

対応方針

- ビジネスマッチングや技術開発支援による販路拡大支援、海外進出等の新たな事業展開に向けた情報の提供、事業拡大に必要な調達手段の多様化への対応等、積極的に支援しております。
- JETRO等の公的機関、地方公共団体や中小企業支援団体、他の金融機関等と連携し、企業が成長する過程に必要なサポートを行っております。

平成25年4月～平成26年3月における取組み実績

- 中堅・中小企業の海外進出サポート体制を強化するため、フィリピンの大手商業銀行「BDOユニバンク」との業務提携を開始(25年7月)
- ベトナムの大手商業銀行「ベトコムバンク」、インド商業銀行大手「インドステイトバンク」と業務提携(25年12月・26年1月)、中堅・中小企業の海外進出サポートを強化
- 業務提携したフィリピンBDOユニバンクより当行取引先のフィリピン現地法人に対し直接融資を可能とする、スタンドバイクレジットを実行、中小企業の資金調達多様化を支援(26年1月)
- 中堅・中小企業の海外進出支援を目的として、経済産業省・外務省による海外展開一貫ファストパス制度へ参加(26年2月)
- 日本政策金融公庫千葉支店と連携した「ちば興銀・日本公庫連携融資『ウィズ』」の活用により、県内企業5社にご融資
- JETRO食品輸出商談会に参加。当行取引先10社が千葉市内ホテルでの海外バイヤーとの商談会に参加(26年3月)

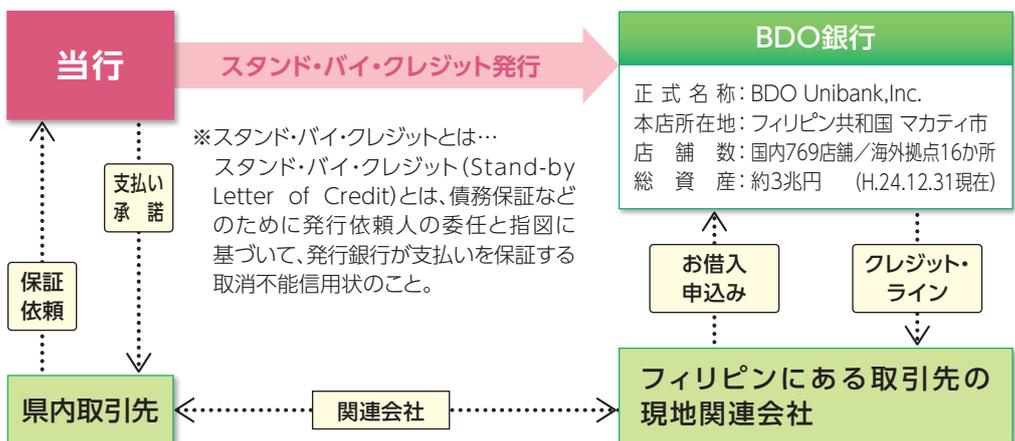
海外進出支援

—BDO銀行との連携によりフィリピンで資金確保が容易に—

当行は、国際協力銀行とフィリピン最大の商業銀行であるBDOユニバンク(以下、BDO銀行)との間で締結された「中堅・中小企業のフィリピン進出支援体制の整備を目的とした覚書」に参加いたしました。BDO銀行は、フィリピン国内769店舗、海外16か所(平成24年12月31日現在)に拠点を展開しており、連携することで、当行のお取引先へのサポート体制が充実いたしました。

覚書締結により、既にフィリピンへ進出済み、または進出を検討されているお客さまに対し、BDO銀行を通じた現地の経済・投資環境情報の提供やBDO銀行ジャパン・デスクを窓口とした各種金融サービスの提供が可能となりました。また、当行とBDO銀行間の個別契約を前提とし、当行スタンド・バイ・クレジット^(※)の供与に基づくBDO銀行からの現地融資も可能となります。

実際に、千葉県内お取引企業の現地関連会社が、このスキームでBDO銀行より資金調達を図ることができました。



トップメッセージ

地域への取組み

平成25年度
の概況

経営・内部
管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・
商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

連結決算

自己資本の
充実の状況等
について

3 経営改善・事業再生が必要な企業に対する支援

対応方針

- 経営課題の把握と分析による取引先企業の事業持続可能性を踏まえた経営改善・事業再生等に対して積極的に取り組んでおります。
- 経営改善・事業再生支援の実効性を向上させるため、行員のスキルアップに取り組んでおります。

平成25年4月～平成26年3月における取組み実績

- 経営改善支援先212先を中心に経営改善支援・事業再生支援へ積極的に取組み
 - ・「中小企業再生支援協議会」2次対応決定先：39先
 - ・「中小企業再生支援協議会」扱いDDSスキーム実行先：2先
 - ・経営改善計画策定先：67先
 - ・経営改善支援による債務者区分ランクアップ先：18先
 - ・認定支援機関申請先：8先(千葉県7先、東京都1先)
 - ・「産業復興機構」「東日本大震災事業者再生支援機構」買取り実施先：6先
 - ・経営改善計画策定(行内)研修開催：39名参加

東日本大震災からの復興支援

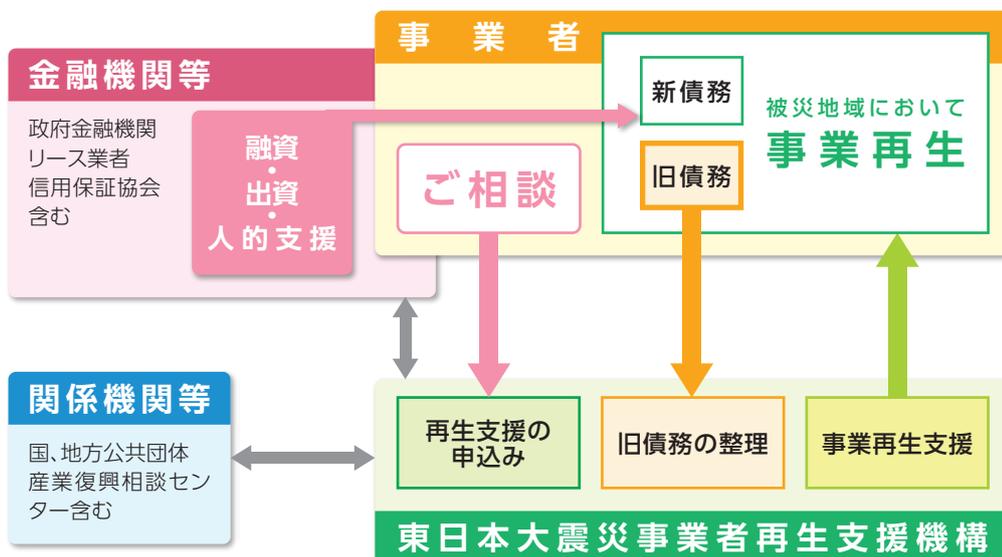
—東日本大震災事業者再生支援機構との連携—

東日本大震災による液状化被害により製造工場が閉鎖し、販売アイテムや生産量の縮小を強いられ、財務内容や資金繰りが悪化した県内食品製造業者の再生を支援いたしました。同社は知名度が高く、商品ブランド力が定着していること、および地元経済や雇用に与える影響等を総合的に判断し、東日本大震災事業者再生支援機構(以下、震災支援機構)と連携して「第二会社方式」による再生に取り組むこととした事例です。

支援策

震災前の借入金債権を震災支援機構に売却(銀行は債権放棄を伴う)し、震災支援機構は一部債務免除、元金支払猶予、利息減免を実施しました。

銀行は新たな運転資金、設備資金の融資を行う(融資の一部には震災支援機構の保証が付きます)とともに、支援先に出資と人的支援(取引先への出向)による経営サポートを実施しました。



4 事業承継が必要な企業に対する支援

対応方針

- 事業承継問題は当該企業の存続のみならず、取引先との商流、従業員の雇用、地域への影響等も大きいことから、経営者の課題解決へ積極的に関与しております。
- 必要に応じて税理士や弁護士等の外部専門家と連携し、自社株評価や相続税試算等を行い、相続や自社株譲渡の対策、後継者の株式買取資金を支援しております。
- 資産の承継以外にも、事業の見直し(第二創業)、ノンコア事業の切り離し、M&A、後継経営者の人材育成等、存続に必要な提案を積極的に行っております。

平成25年4月～平成26年3月における取組み実績

- 相続関連業務のサポート体制拡充のため、「株式会社山田エスクロー信託」との業務提携を開始(25年8月)
- 次世代経営者の育成支援として、ちば興銀「経営塾」を運営(25年5月開講、第5期生30人参加)、中期経営計画策定講座など全8回の講座開催(25年6月～12月)
- ちば興銀「経営塾」塾生・卒業生合同企画として、一流経営者の勝てるファッションをテーマに「経営者のためのスタイルアップセミナー」を開催(25年11月)
- ちば興銀「経営塾」では、厚生労働省より「平成25年度卓越した技能者(現代の名工)」として表彰された当行取引先、神保勝司氏を招き「現代の名工までの道のり」と題した新春講演会を開催(26年1月)
- 事業承継に関する相談：51先
- 相続に関する相談：111先(本部サポート実施案件)
- M&Aニーズ対応：50件(本部サポート実施案件)
- 業務提携先の日本M&Aセンター仲介によりM&A成約案件：1件(26年3月)

—ちば興銀「経営塾」の運営—

ちば興銀「経営塾」は、地元企業育成支援・後継経営者育成支援の取組みのひとつとして、平成16年9月に設立されました。幅広い視点で経営を捉えていただくための視察会やセミナーを定期的に開催しております。これまでに延べ200名近い塾生に学びの場を提供しており、現在第5期生が活動しています。



トップメッセージ

地域への取組み

平成25年度の概況

経営・内部管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・株主の状況

連結決算

自己資本の充実の状況等について



地域の面的再生への積極的な参画(地域の活性化に関する取組状況)

対 応 方 針

- 「医療・介護・福祉」や「農林水産」といった成長分野事業の育成を通して地域経済の活性化に繋げております。
- 地方公共団体や中小企業支援団体と連携し、地域情報の収集・蓄積と分析、ノウハウ・人材の提供を行っております。

平成25年4月～平成26年3月における取組み実績

- 9月2日発生の突風等による被災者に対する「災害復旧支援資金『頑張ろう!千葉』」ならびに「災害復旧支援ローン」の取扱い開始(25年9月)
- メガソーラ建設取組み支援：融資実行額4,452百万円(15件)
- 「北海道銀行」と連携した地元物産展を開催
 - ・千葉県の物産販売と観光PR(25年8月、札幌ドーム球場)
 - ・北海道物産展(25年9月、QVCマリンフィールド)
- JR東日本による地域再発見プロジェクト「上野駅地産品ショップ『のもの』」を共催、当行お取引先5社が千葉県物産品等の販売へ参加(25年7月)
- 次世代を担う子どもたちを対象とする金融教育・しごと体験イベント「夏休み体験隊『サマーキッズ・スクール2013』」を開催、県内小学生35名が参加(25年8月)
- インターンシップの受入れ、県内大学・短大生44名が参加(25年8月)
- 全国高校生金融経済クイズ選手権「エコノミクス甲子園」千葉大会を千葉銀行と共同開催、県内高校生54名が参加(25年12月)
- 各営業店において職場見学の受入れ(県内小・中学生、高校生26名が来店・見学)
- 千葉県農林水産部と当行営業統括部ソリューション支援室とのアグリビジネス(農林・畜産・園芸・販路等)に関する勉強会を開催、施策提言を実施(25年9月～26年1月)
- 医療系コンサルティング企業(1社)および医療分野に強い税理士法人(1社)と新たにビジネスマッチング契約を締結、医療経営コンサルティングおよび医療承継への取組みを強化
- 取引先医療法人の相続・事業承継対策として、前理事長である実父から現理事長(息子)への医療法人出資持分贈与について、相続時精算課税制度を活用し、納税資金をファイナンス支援(26年3月)

地域活性化の取組み

—千葉県と連携し、札幌ドームで「千葉県物産展」を開催—

北海道銀行の協力により、両行が応援する地元球団(千葉ロッテマリーンズ・北海道日本ハムファイターズ)における冠試合にて、対戦相手の地元の魅力をアピールするイベントを行いました。地域に根ざす地元金融機関として、地域を盛り上げていくため実施したものです。

札幌ドーム球場で行われた、千葉ロッテマリーンズ・北海道日本ハムファイターズ戦「北海道銀行スペシャルデー」において、当行は千葉県の魅力を直接発信しました。

実施したこと

- 1 千葉県物産展(千葉県産食材を活かした人気商品を紹介)
- 2 千葉県観光パンフレットを入場者に先着で配布
- 3 球場内大型ビジョンにて森田健作千葉県知事のビデオメッセージを放映
- 4 千葉県のマスコット「チーバくん」によるPR活動



平成25年8月

「がんばろう千葉」キャンペーン ～「がんばろう千葉応援隊」に参加～

千葉県が実施する「がんばろう千葉」キャンペーンおよび「がんばろう千葉応援隊」の趣旨に賛同し、法人として応援隊に加入しており、千葉県経済の活性化を応援するための取組みを行っております。

- 「がんばろう千葉」キャンペーンについては、下記千葉県HPをご参照ください。
<http://www.pref.chiba.lg.jp/kouhou/miryoku/ganbaro/index.html>

－夏休み体験隊「サマーキッズスクール2013」の開催－

次世代育成支援を目的に、毎年実施している金融教育・しごと体験イベントで、今回で7回目の開催となります。県内在住の小学校5・6年生30名が参加しました。また、当行でのインターンシップに参加している大学生が、カリキュラムの一環として協力しました。

当日は、千葉商科大学大学院教授、伊藤宏一先生を講師に、「お金って何?」をテーマとして、お金の意味や使い道などについて学習し、続いて、マリーンズ戦のプログラムを販売する「働く」体験をすることで、大切なお金に関する理解を深めていただきました。

平成25年8月



－「エコノミクス甲子園千葉大会」の開催－

高校生を対象とした全国高校生金融経済クイズ選手権(エコノミクス甲子園)千葉県大会を開催いたしました。クイズを通して、将来必要となる金融知力を伸ばすきっかけとするためのイベントで、金融経済教育の普及を図るためにNPO法人金融知力普及協会が実施しております。

千葉県内では5回目となり、当行と千葉銀行と共同で主催いたしました。

(後援:千葉県・千葉県教育委員会・千葉県金融広報委員会)

平成25年12月



～仕事と子育ての両立～ 「子育てお母さん応援講座」開催

千葉県が推進する「女性の再就職支援」事業の中の一部講座を当行が担当し、再就職をめざす県内の女性を対象に開催いたしました。

「職場見学」や「従業員との懇談」等を通して、職業理解の機会を提供し、仕事と子育ての両立をめざす県内の女性の再就職を応援しております。

平成26年3月



地域や利用者に対する積極的な情報発信の取組み

地域密着型金融推進の取組みについては、さまざまな機会を捉えて積極的な情報開示を行っております。本ディスクロージャー誌とあわせて当行ホームページをご覧ください。

トップ
メッセージ

地域への
取組み

平成
25年度
の概況

経営・内部
管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・
商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

連結決算

自己資本の
充実の状況等
について



地域貢献活動

文化スポーツ活動

「ちば興銀コスモスコンサート」の開催

毎年6月、「千葉県民の日」を祝い、地元のみなさまにクラシック音楽に親しんでいただけるよう、そごう千葉駅前JR連結口広場にて県立千葉女子高校オーケストラ部によるミニコンサートを21年連続で開催しております。



「ちば興銀コスモスセミナー」の開催

「千葉県に関する知識・情報をお客さまと共有する」をコンセプトに無料公開講座を毎年開催しております。第16回は「発掘された房総の城跡」をテーマに開催し、74名のお客さまが受講されました。

平成26年3月



各種スポーツ大会・文化活動への貢献

当行と千葉県ゲートボール連盟との共催による「千葉興業銀行杯親善ゲートボール大会」を24年連続で開催しております。

平成25年9月開催の大会では、県内ゲートボール愛好家50チーム280名の方にご参加いただきました。

その他、千葉県体育協会や千葉県障がい者スポーツレクリエーション協会、千葉県文化振興財団等への協賛・協力も行っております。



社会奉仕活動

「小さな親切」運動の推進

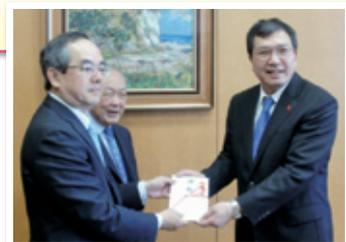
当行は、33都道府県が参加する全国的組織「小さな親切」運動の千葉県本部として、県内の運動推進に努めております。「小さな親切」を実行した人に贈られる「実行章」は、千葉県内で平成25年度（4月～3月）において2,564名が受章されました。（累計314千人以上）。当行行員は全員会員登録しており、地域のボランティア活動や寄付・募金活動を実施しております。



交通安全意識を啓蒙

当行と千葉日報社が共同で設立した「コスモス交通安全協力会」より、県内新中学1年生へ地域ごとにスポークライト（自転車事故防止用反射板）を毎年贈呈しております（20年間で延べ240,400個）。

また、県の交通安全推進委員会が推進する交通安全運動期間に、交通安全リボンを全行員・スタッフが着用し、交通安全意識の啓蒙に努めております。



寄付活動の実施

行員やお客さまから集めた不要衣料品を千葉県民間病院協会会員である柏戸病院と千葉みなと病院へ毎年寄贈しております。また、全店から集めた古切手・使用済テレカ等は、千葉市社会福祉協議会ボランティアセンターへ寄贈しており、車椅子購入やボランティア活動資金として利用されております。

当行役職員による募金活動「ともしびの会」では毎年年末に県内の養護施設等への浄財を寄付しております。
(37年間で延べ337施設4,204万円)



献血活動の実施

「日本赤十字社献血サポーター」登録企業として、毎年春・秋の2回、本店の行員・スタッフが多数献血に協力しております。



環境への取組み

「緑のカーテン運動」の展開

地域のみなさまとともに、環境にやさしい街づくりをめざす「緑のカーテン運動」のモデル実習として、パッションフルーツの栽培を行っております(平成25年度3カ店)。

今後は地域のみなさまと一緒に、運動を展開していく予定です。

※「緑のカーテン運動」:光合成によるCO₂の吸収を図るとともに、夏の強い日差しを遮り、空調負荷の低減をめざす壁面緑化活動です。



環境美化活動の実施

例年、春の県下一斉ゴミゼロ運動に行員・スタッフおよびその家族がボランティア参加しております(全部室店参加総数約1,000名)。

また、国道14号・357号沿線の12企業・団体に組織される「国道をきれいにする会」に参加し、毎月沿道の清掃を実施するほか、各地域の環境美化活動にも積極的に参加しております。



「法人の森協定」を締結

県有林において、森林の保全・整備、森林環境教育等を通して社会貢献活動を行う「法人の森」事業に参画するため、千葉県と「法人の森協定」を締結し、「ちば興銀の森」活動をスタートしました。

今後、松くい虫等の影響で海岸保安林が壊滅状態にある匝瑳市新堀海岸県有林の再生を目指し、植樹や草刈等による森林整備活動を実施していく予定です。



トップ
メッセージ

地域への
取組み

平成
25年度
の概況

経営・内部
管理体制等

当行の概要

店舗等一覧

トピックス

業務内容・
商品案内

財務諸表等

損益の状況

経営諸比率

営業の状況

資本の状況・
株主の状況

連結決算

自己資本の
充実の状況等
について